作成日：2026 年 9 月 1 日　第 1 版
〔ホームページ公開用資料〕

肺癌における新規候補遺伝子群の機能解析および臨床病理学的意義の検討

１．臨床研究について

九州大学病院および大分大学病院では、患者さんによりよい治療を行うために、病気の特徴を調べ、診断や治療の方法をよくするための研究を行っています。九州大学病院別府病院外科では、肺癌の患者さんを対象に、癌に関係する遺伝子の働きや、遺伝子の変化が病気の経過とどのように関係しているかを調べる「臨床研究」を行っています。この研究は、九州大学医系地区部局観察研究倫理審査委員会で内容について審査を受け、研究機関の長の許可を得て行います。研究期間は、研究の許可を得た日から 2031 年 3 月 31 日までです。

２．研究の目的や意義について

肺癌では、癌細胞の DNA や遺伝子の働きに、さまざまな変化が起こっています。このような変化は、癌の性質や治療の効き方、再発、その後の経過などに関係することがあります。この研究では、MPLKIP などの遺伝子について、癌細胞の中にある遺伝子やタンパク質の量、DNA の変化、組織の中でどこにあるかなどを調べます。さらに、これらの結果と、患者さんの診療で得られた情報との関係を調べます。これにより、肺癌の診断や治療に役立つ新しい手がかりを見つけることを目指します。

３．研究の対象者について

2010 年 1 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までに、大分大学医学部附属病院呼吸器外科で肺癌の手術を受けた方のうち、診療のために保管されている手術で切除した組織と、研究に必要な診療情報が残っている方 100 名を対象とします。この研究の対象になることを希望されない方、またはご家族などの代理人の方は、事務局までご連絡ください。

４．研究の方法について

この研究では、カルテから下に示す情報を集めます。また、診療のためにすでに採取され、保管されている手術で切除した組織などを使用します。保管されている組織から RNA、DNA、タンパク質などを調べます。また、組織をうすく切ったものを染色して、研究する遺伝子が組織の中でどのくらい作られているか、どこにあるかなどを調べます。さらに、一般に利用できる、個人が特定されないように処理された公共のデータベースを使って、遺伝子の働きや DNA の量の変化などを調べ、研究で得られた結果を確かめます。大分大学医学部附属病院で保管されている対象者の試料と診療情報は、個人が特定されないように処理したうえで、九州大学病院別府病院外科へ提供し、詳しく調べます。

〔取得する情報〕

年齢、性別、身長、体重、病気の進み具合（病期）、癌ができた場所、病理検査の結果、血液検査の結果（腫瘍マーカー）、画像検査の結果（CT、MRI）、治療内容、再発の有無、その後の経過

〔利用又は提供を開始する予定日〕

研究許可日以降

他機関への試料・情報の送付を希望されない場合は、送付を停止いたしますので、ご連絡ください。

５．研究への参加を希望されない場合

この研究への参加を希望されない方は、下記の相談窓口にご連絡ください。研究への参加を希望されなくても、その後の診断や治療で不利益を受けることはありません。参加を希望されない場合は、集めた情報などを廃棄し、それ以降、この研究のために使用することはありません。ただし、すでに研究結果が論文などで発表されている場合には、その結果から情報を完全に取り除くことができない場合があります。

６．個人情報の取扱いについて

手術で切除した組織、検査の結果、カルテの情報などをこの研究に使用するときは、患者さんのお名前の代わりに研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんと研究用の番号を結びつける表は、大分大学医学部附属病院呼吸器外科において適切に管理します。九州大学病院別府病院外科には、患者さん個人が直接特定できる情報を除き、研究用の番号を付けた試料・情報を提供します。研究結果を学会や論文などで発表したり、研究結果をもとに特許などを申請したりする場合にも、患者さん個人が特定できる情報は使用しません。大分大学医学部附属病院で保管する個人情報は同院において適切に管理し、九州大学病院別府病院外科に提供された情報は、教授・三森功士の責任のもと、厳重に管理します。ご本人などから希望があった場合には、保管している個人情報をお見せします。情報の開示を希望される方は、ご連絡ください。

７．試料や情報の保管等について

〔試料について〕

この研究のために大分大学医学部附属病院から九州大学病院別府病院外科へ提供された試料は、九州大学病院別府病院外科において、教授・三森功士の責任のもと適切に保管します。研究終了後は 5 年間保存した後、研究用の番号などを消して廃棄します。なお、大分大学医学部附属病院に保管されている元の試料は、同院の規程に従って管理します。

〔情報について〕

この研究のために大分大学医学部附属病院から九州大学病院別府病院外科へ提供された情報は、九州大学病院別府病院外科において、教授・三森功士の責任のもと適切に保管します。研究終了後は 10 年間保存した後、研究用の番号などを消して廃棄します。なお、大分大学医学部附属病院に保管されている元の診療情報および対応表は、同院の規程に従って管理します。ただし、この研究で得られた試料や情報は、将来行われる別の医学研究にも役立つ可能性があります。そのため、上に示した期間をこえて保管し、将来の医学研究に使用させていただくことがあります。その場合は、新しい研究について、あらためて倫理審査委員会で審査を受け、承認された後に使用します。

８．この研究の費用について

この研究に必要な費用は、部局等運営経費および文部科学省科学研究費でまかなわれます。

９．利益相反について

九州大学では、よりよい医療を社会に提供するために、臨床研究を進めています。研究には国などからの公的な研究費だけでなく、企業や財団からの寄付や契約による資金が使われることもあります。医学研究を進めるためには企業などとの協力も必要であり、国や大学も適切な協力をすすめています。一

方で、企業などと協力することで、患者さんの利益と研究者や企業などの利益がぶつかる可能性があります。このような状態を「利益相反」といいます。九州大学では、このような問題を適切に管理するため、「九州大学利益相反マネジメント要項」と「医系地区部局における臨床研究に係る利益相反マネジメント要項」を定めています。この研究も、これらの決まりにしたがって行います。この研究に必要な費用は、部局等運営経費と文部科学省科学研究費でまかなわれています。この研究を行ううえで、特別な利益相反はありません。利益相反について詳しく知りたい方は、下記の窓口へお問い合わせください。
利益相反マネジメント委員会
（窓口：九州大学病院 ARO 次世代医療センター　電話：092-642-5082）

１０．研究に関する情報の公開について

この研究に参加してくださった方の個人情報を守り、研究を適切に行ううえで問題がない範囲で、この研究の研究計画書や研究方法についての資料を見ることができます。資料を見たい方は、ご連絡ください。また、この研究で得られた成果は、学会での発表や論文の発表などにより公表する予定です。

１１．特許権等について

この研究の結果から、特許などの権利が生まれる可能性があります。その場合、その権利は九州大学に属し、研究対象者には属しません。また、その特許などから経済的な利益が生まれた場合も、その利益について研究対象者に権利はありません。

１２．研究を中止する場合について

研究責任者が、研究を続けることができないと判断するような事情が起こった場合には、この研究を中止することがあります。研究を中止した後も、この研究についてのご質問やお問い合わせには対応します。

１３．研究の実施体制について

この研究は以下の体制で実施します。

研究実施場所	九州大学病院別府病院　外科	
研究責任者	九州大学病院別府病院　外科　教授　三森功士	
研究分担者	九州大学病院別府病院　外科　助教　笠木勇太 九州大学病院別府病院　外科　助教　胡慶江 九州大学大学院医学系学府　大学院生　鎌田 紘輔	
共同研究機関等	機関名／研究責任者の職・氏名・(機関の長名)	役割
	大分大学医学部呼吸器乳腺外科学講座/教授・小副川敦・(井原健二)	試料・情報の提供

１４．相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等がある場合は、下記担当者までご連絡ください。

事務局 （相談窓口）	担当者：九州大学大学院医学系学府　大学院生　鎌田 紘輔 連絡先：〔TEL〕0977-27-1650 〔FAX〕0977-27-1651 ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ：　kamada.kosuke.643@s.kyushu-u.ac.jp

【留意事項】

本研究は九州大学医系地区部局観察研究倫理審査委員会において審査・承認後、以下の研究機関の長（試料・情報の管理について責任を有する者）の許可のもと、実施するものです。

九州大学病院長　中島　康晴